

# 石川県地域連携薬剤師共育プログラム 石川県薬剤師修学資金返済支援事業について

石川県健康福祉部薬事衛生課

# 石川県の基本情報について

- 人口：113.2万人（全国順位：33位）※令和2年10月1日時点
- 面積：4186.2Km<sup>2</sup>（全国順位：35位）※令和3年10月1日時点
- 市町：19市町（11市8町）
- 二次医療圏：能登北部、能登中部、石川中央、南加賀
- 医療施設数：病院91施設（全国19位）

出展：令和4年度版石川100の指標より

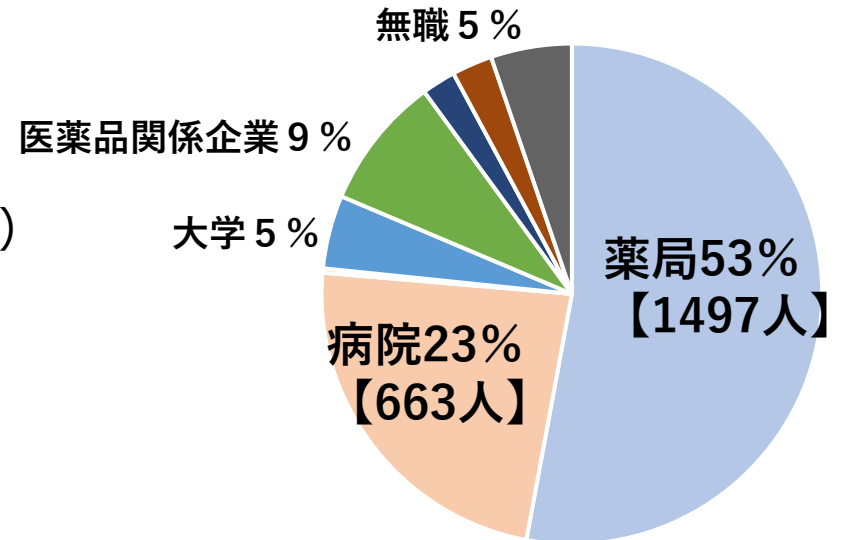
19市町（11市8町）



## 県内薬剤師の状況について

県内薬剤師数 H22：2572人→R2：2829人（+257人（+10.0%））  
うち薬局 H22：1196人→R2：1497人（+301人（+25.2%））  
**うち病院** H22：595人→R2：663人（+68人（+11.4%））  
（※診療所も含む）

県内の薬剤師の就業先の**半数以上が薬局**（R2：53%）



出展：令和2年三師統計より

○ 県内薬剤師の総数は増加しているが、薬局に人材が流れており、**病院薬剤師の確保が困難な状況**

# 地域連携薬剤師共育プログラムと薬剤師修学資金返済支援事業の創設

基幹病院（県内大学病院など）と地域病院（能登地区など）の**双方で就業しながら、専門資格を取得**できるプログラムを県が新たに創設し、地域病院の薬剤師確保につなげる。

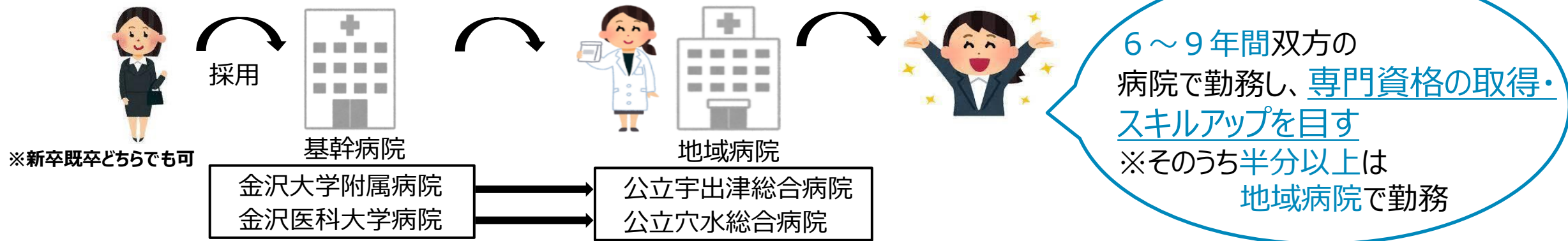
⇒ **資格取得・やりがいの提供** と **修学資金返済への助成** をセットで提供する※

薬学生のニーズ

病院勤務の動機付け

※令和3年12月24日付け国事務連絡「地域医療介護総合確保基金を活用した薬剤師修学資金貸与事業の取扱いについて」に基づく

## ➤ 地域連携共育プログラムの概要（R6年度から開始）



⇒ プログラム満了後、在学中に借り入れた修学資金の返済を支援

地域に根差した専門的な薬剤師の確保につなげる

# 地域連携薬剤師共育プログラムのイメージ（例）

基幹病院（大学病院等）に就職



地域病院（能登地区等）に就職



希望する病院へ就職

## ○1年目（新人薬剤師として、基本的な業務の習得）

（前半）：教育スケジュールにより基本的な業務を習得  
（後半）：病棟業務の基本を習得、専門薬剤師のフォロー

## ○2年目（取得資格（コース）の知識技能の習得）

（前半）：症例・研修の経験・学術大会への参加の開始  
（後半）：1通りの知識・技能の習得、担当病棟へ配属

## ○3年目（認定・専門試験への合格へ向けての準備）

（前半）：より専門的な研修への参加、知識・技能の定着  
（後半）：資格取得の要件を達成、試験の申請

## ○4年目（地域病院に働きながら資格習得）

（前半）：ジェネラリストとしての病院業務  
（後半）：筆記試験・面接試験などの実施

## ○5年目（認定・専門薬剤師としての業務）

（前半）：資格を活かした薬剤業務の実施  
（後半）：他職種との連携や専門的指導実施

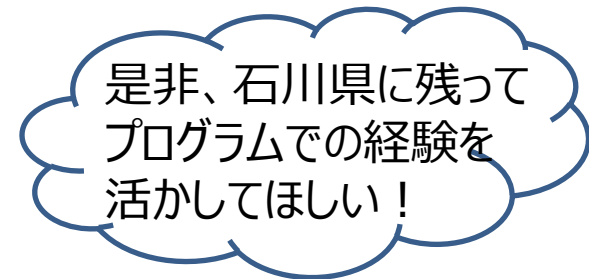
## ○6年目（プログラム終了への総まとめ）

（前半）：地域病院の問題点の解決・活性化  
（後半）：総まとめ、今後の就業先について

## ○7年目（プログラムの報告）

資格の取得、地域密着型医療の経験により、どの病院でも働くことができる薬剤師に。

※プログラム期間に就業した病院への再就職を約束するものではありません



## 専門・認定資格とはどのようなものを取れるの？

領域、名称（認定団体）	取得条件など
<b>悪性腫瘍（がん）</b> がん専門薬剤師（日本医療薬学会）	試験、研修50単位、50(3臓器・領域以上のがん腫)症例の経験。医療法上、唯一広告可能な資格。がん患者指導管理料がとれる（経営面でも点数プラス）
がん指導薬剤師、がん薬物療法認定薬剤師、がん薬物療法専門薬剤師、外来がん治療認定薬剤師、外来がん治療専門薬剤師、緩和薬物療法認定薬剤師、緩和医療専門薬剤師	
<b>感染症</b> 感染制御認定薬剤師（日本病院薬剤師会）	試験、実務5年・ICT活動3年、研修20時間10単位、日本病院薬剤師会主催の感染制御に関する講習会を1回以上受講、20症例の経験
その他、感染制御専門薬剤師、HIV感染症薬物療法認定薬剤師、HIV感染症専門薬剤師、抗菌化学療法認定薬剤師、登録抗酸菌症エキスパート、認定抗酸菌症エキスパート、ICD	
<b>腎疾患</b> 腎臓病薬物療法認定薬剤師（日本腎臓学会ほか）	試験、2年以上かつ通算1000時間以上腎臓病療養指導に従事、講習会の受講、療養指導の見学・実施、症例リスト・症例要約8
その他、腎臓病薬物療法単位履修修了薬剤師、腎臓病薬物療法認定薬剤師、腎臓病薬物療法専門薬剤師	
<b>循環器疾患</b> 心不全療養指導士（日本循環器学会）	試験、eラーニング、5症例の経験
その他、循環器病予防療養指導士（日本高血圧学会ほか）	
<b>内分泌・代謝疾患</b> 日本糖尿病療法指導士（日本糖尿病療養指導士認定機構）	試験、2年以上かつ通算1000時間以上糖尿病療養指導に従事、講習会の受講、10症例の経験
<b>精神疾患</b> 精神科薬物療法認定薬剤師（日本病院薬剤師会）	試験、実務5年・精神科薬物療法5年、研修40時間20単位、30症例の経験、病院長あるいは施設長等の推薦
その他、精神科専門薬剤師（日本病院薬剤師会）	
<b>産科・婦人科疾患</b> 妊婦・授乳婦薬物療法認定薬剤師（日本病院薬剤師会）	試験、実務5年・妊婦授乳婦薬剤指導3年・研修施設での薬剤指導3年または実技研修40時間、研修20時間10単位、30症例の経験
その他、妊婦・授乳婦専門薬剤師（日本病院薬剤師会）	
<b>小児科疾患</b> 小児薬物療法認定薬剤師（日本薬剤師研修センター）	試験、実務3年、eラーニング40時間研修認定施設で1日
<b>へき地医療及び在宅医療</b> NST専門療法士（日本臨床栄養代謝学会）	試験、実務5年・認定施設での実地修練40時間、学会・セミナーへの参加30単位、1症例の経験

# プログラムへの参加について

Q.どのような人が地域連携共育プログラムに参加できますか？

A.県内の対象の病院（基幹病院・地域病院）に就職（採用）された薬学生又は薬剤師に参加資格があります。プログラムに参加希望の方は、対象の病院の採用担当者にプログラム参加希望の旨をお伝えください。

Q.どの病院が対象の病院となりますか？

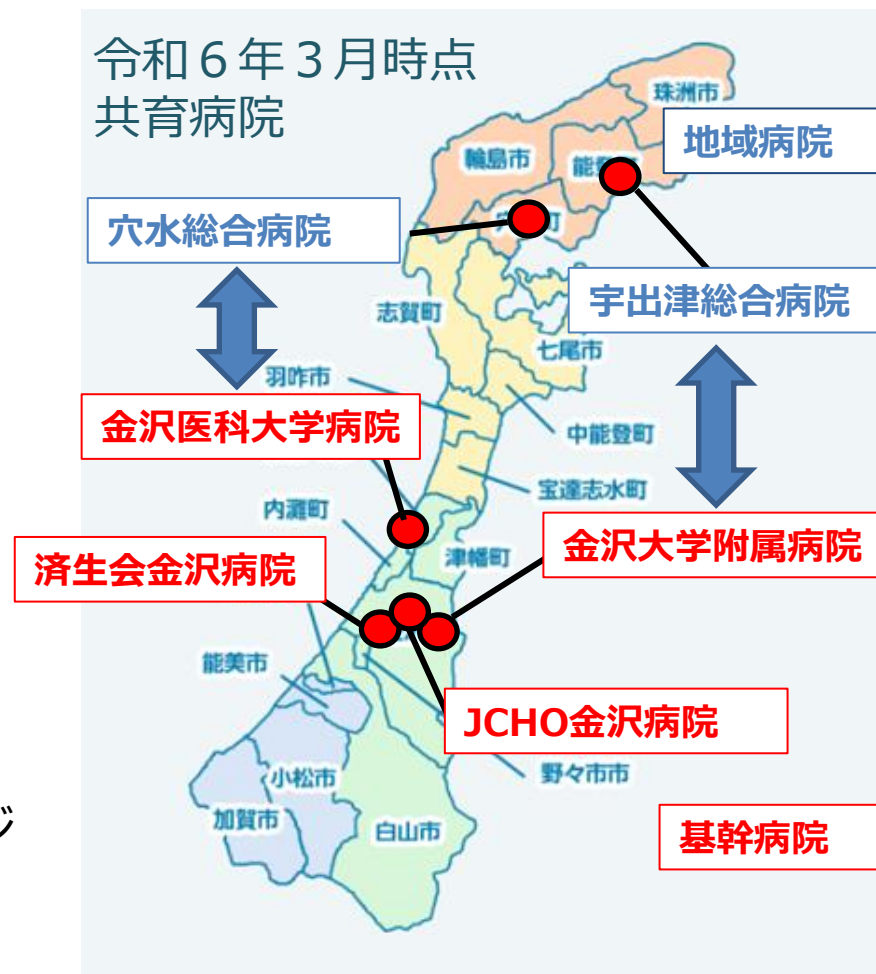
A.県から共育病院（基幹病院・地域病院）の指定を受けた病院が対象となります。共育病院の指定を受けるには、実施要領に基づく病院の要件を満たす必要があり、病院からの申請が必要です。

共育病院の指定状況は、順次石川県のホームページで更新しておりますので、「石川県 病院薬剤師確保事業」で検索ください。

基幹病院と地域病院の間で、資格取得のためのコースを策定します。プログラム参加者は、コースを選択し、プログラムを開始します。  
【※取得できる資格（コース）は病院ごとに異なります】



ホームページ  
はこちらから





石川県



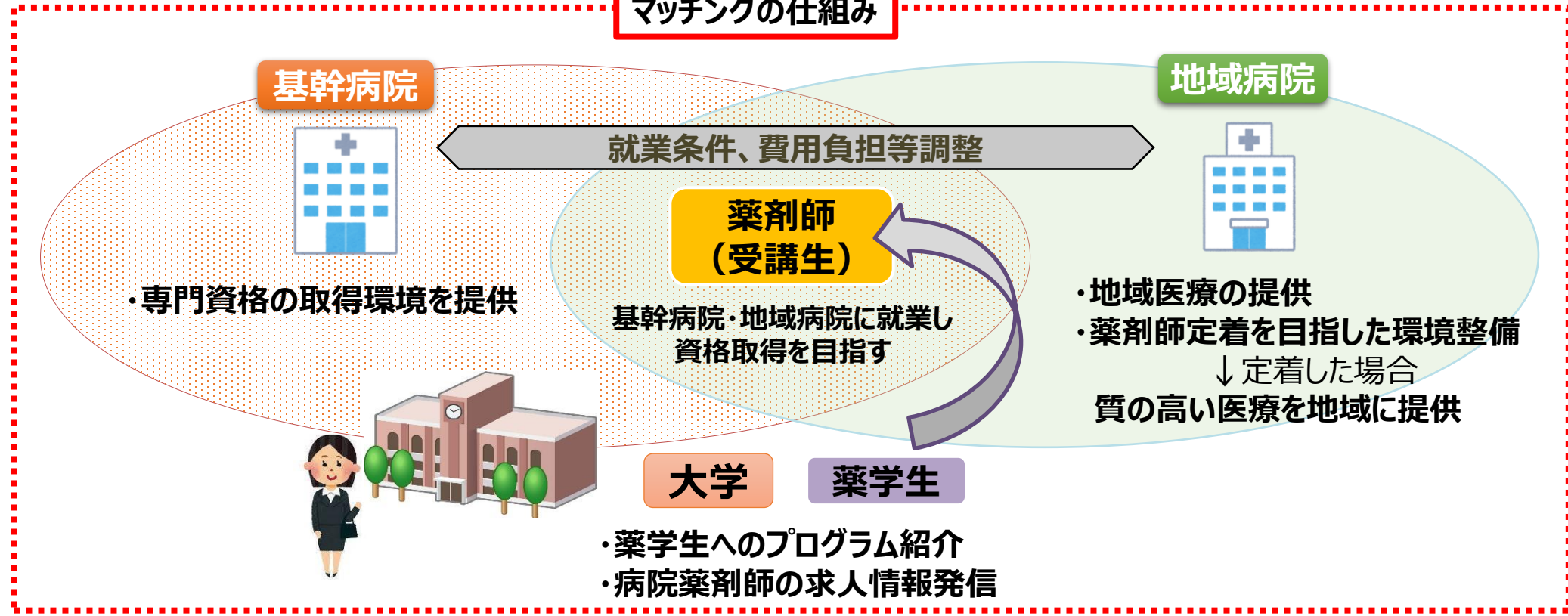
県薬剤師会  
県病院薬剤師会

- ・参加病院・参加薬剤師の指定
- ・**修学資金返済支援**の実施
- ・定着状況等の調査

- ・病院間のマッチングや**資格取得等に関する助言**
- ・病院薬剤師確保に関する**情報発信**
- ・参加薬剤師の**募集支援**

事業の総合調整

マッチングの仕組み



## 主なお問い合わせ（奨学金返済支援関係）について

Q.奨学金の返済支援額は具体的にどのように計算するのですか？

A.支援金の額 = ①×②（240万円を支援上限額とする）

①：大学等の在学期間中に借り入れた就学資金の返済残高

②：大学等の在学期間中に借り入れた就学資金の総額に占める  
卒業（修了）月から前4年間に借り入れた就学資金の割合

例1) 在学中の借入期間：大学4年4月～大学6年3月（卒業月） 計36か月間  
申請時における返済残額が190万円の場合

支援額 = 返済残額 190万円 × 期間按分 36 / 36 = **190万円**

例2) 在学中の借入期間：大学2年10月～大学6年3月（卒業月） 計54か月間  
申請時における返済残額が360万円の場合

支援額 = 返済残額 360万円 × 期間按分 **48** / 54 = 320万円 → **上限240万円**



4年間（48か月）



## 主なお問い合わせ（奨学金返済支援関係）について



Q.このプログラムに参加すれば、奨学金返済支援を受けられますか？

A.基幹病院と地域病院の**双方に就業**（総就業日数の**半分以上**を地域病院で就業）し、プログラムの期間中にコース対象の**資格を取得**し、**プログラムを満了**した場合に限り、奨学金返済支援の対象者となります。  
プログラムを離脱した場合、支援対象者の要件を満たしていない場合は、奨学金返済支援を受けることができません。

また、予算の範囲で行う事業であるため、予定件数分の認定が完了した段階で、以降の支援対象者の認定は見合わせます。

Q.奨学金を借りていない人は、プログラムに参加できませんか？



A.奨学金の返済が無い方でも、プログラムに参加することは可能です。

専門家によりコースが策定されているため、**計画的かつ効率よく**資格の取得ができるほか、**資格を取得した後のフォロー**（地域病院で勤務する際のバックアップなど）もあるため、**安心して勤務**することができ、奨学金を借りていない方でも、プログラムに参加する**メリット**があります。

## 資格を取得することや地域病院で働くことのメリットは？

薬剤師の視点から、専門的な意見ができるようになることで、医療従事者や患者からより信頼が得られるようになります。患者さんの負担軽減だけでなく、医療チームの負担軽減にもつながり、病院での薬剤師としての価値が高まります。

実際に・・・

診療報酬改定で病院薬剤師の賃上げも。

### 病院薬剤師に関する診療報酬について（2024.1.26 中医協資料 引用）

#### ○薬剤師の養成強化による病棟薬剤業務の向上（薬剤業務向上加算【新設】）

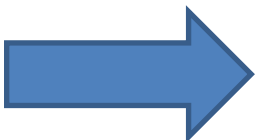
→地域病院への出向制度と免許取得直後の研修制度をもつ基幹病院の評価 100点

#### ○外来腫瘍化学療法診療料の見直し（がん薬物療法体制充実加算【新設】）

→薬剤師が情報収集・処方提案等を医師の診察前に実施する（タスクシフト） 100点

#### ○新病棟における病棟薬剤業務実施加算 1

→高齢者救急を中心とした「地域包括医療病棟」において病棟薬剤業務実施加算 1 は別途算定できる



今後、専門的かつ地域循環型な役割が薬剤師として求められている。

## どのような人にプログラム参加がお勧めか

将来にむけて、専門・認定薬剤師を目指したい・・・

地方で就職をするのが不安・・・

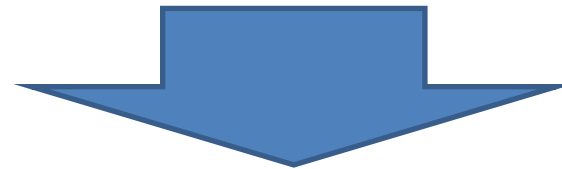
大病院と中小病院のどちら就職すればよいか迷っている・・・

病院で働いてみたいけど奨学金の返済が心配・・・

資格取得のためのコースが創られます。バックアップ体制が充実しているので、地域病院でも安心して就業できます。**新卒の方や職場復帰の方**の場合でも、新人研修から始めることができ安心。

6～9年間、**双方の病院に就業できる**ので、実際に働きながら、自分に適した将来の薬剤師像を考えることができます。

奨学金の返済（予定）の方への支援があります。プログラムを満了した方には、**最大240万円の返済支援**を受けることができます！



地域医療を経験し、資格を持った薬剤師になれるチャンス！

魅力ある石川県に就職し、医療に貢献してみませんか？